

家庭用品 ブックレット 改訂記念学習会



昨年12月11日、東京都青山のEPO会議室にて、家庭用品ブックレット改訂記念学習会を開催しましたので、ご報告します。当日は、小さな会場がほぼ埋まる人の参加があり、質疑応答でも活発な質問や意見が飛び交いました。あらためて、家庭用品に含まれている化学物質の問題についての関心の高さを感じさせられました。

学習会では、まず、家庭用品ブックレットの改訂作業を行ったメンバーがそれぞれ報告をしました。中地重晴理事（熊本学園大学教授）は、EUの高懸念物質に関する“SIN LIST”とその国内での使用状況について報告しました。EUでは、現在、欧州化学物質庁が、人や環境に及ぼす影響が高いと懸念されている化学物質（高懸念物質・優先評価物質）のリスト化を行っています。欧米のNGOが主体となって、このリストの中にこういう物質を入れて欲しい！として作成したのが“SIN LIST”です。日本国内で家庭用品に使われている化学物質でも、SIN LIST にリストアップされているものがあります。

次に、会員の石井恭子さんが、農薬取締法の規制・園芸用農薬について報告しました。石井さんは、自らの経験から、かつて何の疑問ももたずに駐車場に農薬を散布していたことがあり、しかも、マスクや手袋などの防御も十分にせずにやっていたことを話し、農薬についての適切な規制が必要であることを説明しました。

会員の栗谷しのぶさんは、ヘアカラー製品、ベビー・キッズ用品について報告しました。栗谷さんも、数年前に子どもを出産した後、非常にたくさん子ども向けの家庭用品が世の中に回っていることを知って驚いたことについて話しをし、全ての家庭用品が必要というわけではなく、何が必要で何が

不要かを消費者が選べるようにすることが必要だと話をしました。

最後に、中下裕子事務局長が、家庭用殺虫剤と白アリ駆除剤について報告しました。特に、家庭用殺虫剤やシロアリ駆除剤は、近年、ネオニコチノイド系農薬が使用されるようになってきていること、ネオニコチノイド系農薬については、人体や環境への悪影響が懸念されているにもかかわらず、十分な規制が全くないことを指摘しました。

今回の学習会では、ブックレットの中の一部しかご紹介することができませんでしたが、より詳しく内容を知りたい方は、『〈新版〉知らずに使っていませんか？一家庭用品の有害物質一』を是非ご購入ください。（報告：SA）

●販売価格

1冊850円（会員500円）＋送料（10冊以上まとめてご購入される場合、送料は国民会議で負担）

●購入方法

国民会議事務局へ、下記のFAXもしくはメールにてお申し込み下さい。

FAX：03-5368-2736

メール：kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp

申し込みの際は下記をお書き下さい。

①希望冊数

（例：国民会議ブックレット⑧ ○冊）

②住所

③名前

④電話及びFAX番号

⑤会員の方は会員番号

※冊子を送付する際に、請求書及び振込用紙を同封させていただきます。